1.地震活動に関する資料

3頁 2006 年8月の活動

想定震源域及びその周辺で発生した M 3.0 の地震は、

17日 愛知県東部深さ 9km M3.225日 愛知県西部深さ 43km M3.926日 三河湾深さ 14km M3.131日 静岡県西部深さ 37km M3.0

南関東における M 3.5 の地震は、

14日 -	F葉県南部	深さ 72km M3.6
31日夏	東京湾	深さ 76km M4.8

その他の地域で目立った地震は、

1日	茨城県沖	深さ 48km M4.3
28日	茨城県沖	深さ 34km M4.1
28日	茨城県沖	深さ 44km M4.4

2004 年 9 月 5 日の東海道沖の地震(M7.4)の M4 以上の余震は発生しなかった。

4頁 2006年9月の活動(1日~18日)

想定震源域及びその周辺で発生した M 3.0 の地震は、なかった。

南関東における M 3.5 の地震は、

7日 千葉県北西部	深さ 69km M4.6
8日 千葉県北西部	深さ 76km M3.7
9日 千葉県南部	深さ 24km M4.0

その他の地域で目立った地震は、

1日 房総半島南東沖	深さ 45km M4.6
7日 千葉県東方沖	深さ 38km M5.1
14日 茨城県沖	深さ 43km M4.1

2004 年 9 月 5 日の東海道沖の地震(M7.4)の M4 以上の余震は発生しなかった。

また、9月8日に愛知県東部の深さ35kmで、M2.9の地震が発生した。

5頁 東海地域の地震活動指数

1

- 固着域:フィリピン海プレート内の中期がやや高い(7)。他はほぼ平常(6)。
- 愛知県:地殻内の短期がやや高い(7)が、中期はほぼ平常(6)。フィリピン海プレート 内はほぼ平常(4~5)。
- 浜名湖:西側では短期は平常(4)に回復、中期はまだやや低め(1)。東側では短期・中 期ともにやや低い~低い(1~0)。
- 駿河湾:短期・中期ともにほぼ平常 (3~4)。

6頁 固着域

(1997/01/01~2006/09/20、M3.5以上は1987/09/01~2006/09/20)

[フィリピン海プレート内]

M1.1 以上の地震活動は、2006 年半ば頃からやや活発(クラスタ除去、地震回数積 算図の傾き)であるが、このような活発化は 2005 年半ばなどにも見られ、揺らぎと 考えられる。

M2.0 以上の地震活動は、2005 年半ば以降やや静穏である。

M3.5以上の地震発生回数を見ると、2001年後半ごろから少ないことがわかる。1998 年後半~2000年前半にも静穏な時期があった。

7頁 愛知・長野県境付近の低周波地震活動

8頁 短期的スロースリップに伴う歪計の変化

東海・南関東地域の地震活動 2006年8月



3

東海・南関東地域の地震活動 2006年9月(1日~20日)



東海地域の地震活動指数

(クラスタを除いた地震回数による)

2006年9月20日 現在

	1		1					
	日本	l) 手域	愛知	2) 印県		③ 浜名湖		④ 駿河湾
	地設内	フィリ	地砂内	フィリ	フィリピン海プレー		ノート内	
	-6/2/13	ビノ 海 プレート	45/X P 3	ヒノ _神 プレート	西側	全域	東側	土切
短期活動指数	6	6	7	5	4	1	1	3
短期地震回数 (平均)	9 (6.34)	9 (5.90)	8 (4.49)	15 (12.63)	1 (2.38)	1 (5.91)	0 (3.53)	4 (6.11)
中期活動指数	6	7	6	4	1	0	0	4
中期地震回数 (平均)	25 (19.03)	25 (17.69)	18 (13.46)	38 (37.90)	1 (4.76)	2 (11.82)	1 (7.06)	12 (12.22)

*Mしきい値:

M≥1.1:固着域、愛知県、浜名湖、M≥1.4:駿河湾

* クラスタ除去:

震央距離がΔr以内、発生時間差がΔt以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。 Δr=3km、Δt=7日:固着域、愛知県、浜名湖

- Δr=10km、Δt=10日:駿河湾
- * 対象期間:

短期: 30日間(固着域、愛知県)、90日間(浜名湖、駿河湾)

中期:90日間(固着域、愛知県)、180日間(浜名湖、駿河湾)

* 基準期間:

1997年-2001年(5年間):固着域、愛知県、1998年-2000年(3年間):浜名湖 1991年-2000年(10年間):駿河湾







短期的スロースリップに伴う歪計の変化

8月27日頃から9月1日頃にかけて、低周波地震の活動とともに、気象庁の佐久間及 び静岡県の本川根などの歪計において同期した変化が観測された。



歪変化から推定される短期的スロースリップのソースの位置は、長野県南部に求まる。すべりの規模はM5.7~M5.8と推定される。

気象庁作成